PHILIPS

株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン
ライティング事業部 ゼネラルライティング

〒108-8507 東京都港区港南2-13-37 フィリップスビル TEL (03) 3740-5156 FAX (03) 3740-5163

Rev:01

PDS-70mr 24V

工事店様へ、工事が終わりましたらこの取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。
お客様へ、この取扱説明書はお読みになった後も必ず大切に保管してください。

12NC 910503700098 (プログラム内臓タイプ)
12NC 910503700099 (DMX 内臓タイプ)
12NC 910503700583 (イーサネットタイプ)

ユーザーガイド
取扱説明書

この度はPDS-70mr 24V をお買い上げいただき、誠に有難うございます。このユーザーガイドではPDS-70mr 24V の安全な使用方法についての重要事項を説明しています。PDS-70mr 24V を正しく安全にお使いいただくため、ご使用になる前に必ずこのユーザーガイドをお読み下さい。また、必要なときにご覧になれるよう大切に保管して下さい。
箱には以下のものが入っています。

・PDS-70mr 24V 1台.
・マイナスドライバー 1本.
・一次側ケーブル保護ブッシング 1個.
・データケーブル保護ブッシング 3個.
・配線口用スチールキャップ 4個.

1. はじ めに

PDS-70mr 24V は、弊社のスマートジュースステクノロジーを使用し、フィリップスのライトに電源とデータを供給する、iColor MRg2専用パワー／データサプライです。ライトのコントロール方法に応じて、プログラム内蔵タプ、DMX タイプ、イーサネットタイプがありますので必要なタイプを使用して下さい。

注意

本製品の設置は、専門の電気工事業者が行って下さい。
本製品は -10℃～40℃の環境でお使い下さい。
本製品は、屋外では使用できません。屋外で使用する場合は、屋外用設置ボックスをご用意下さい。
本製品は水がかからないところでお使い下さい。
通気性のよい場所に設置して下さい。密閉される状態での使用は不具合の原因になります。

2. 本体の設置

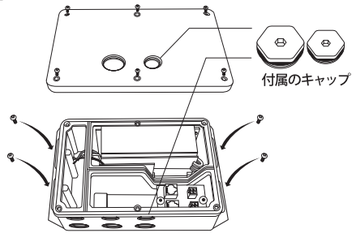
万一過度の震動が加わった場合などにも耐えられるよう、十分な安全性を確保した設置を行って下さい。

◆ 2-1
PDS-70mr 24V の本体を設置する場所を決めます。このとき、末端のライトまでの配線距離は最長15m であることを念頭に置いて下さい。

◆ 2-2
本体と蓋にある配線口のうち、必要な数の配線口を残し、使用しない配線口には付属のキャップを閉めて下さい。

2-3
本体を平らな面に設置します。取付用スロットに設置面に適切なビスなどで固定して下さい。(図2参照)

図2



3. 電源ケーブルの接続

注意

入力電源に適したケーブル、また必要に応じた接続の遮断方法をユーザー様にてご用意下さい。

◆ 3-1
本体側面の電源入口穴に付属のブッシングを取り付けて下さい。

◆ 3-2
電源ケーブルを通し、Line (黒)、Neutral (白)、Ground (緑／黄) をそれぞれ圧着して下さい。なお、本体内部でケーブルが曲がりますので適切なケーブルを使用するようご注意下さい。
(図3参照)

◆ 1-1 各部の名称

図1

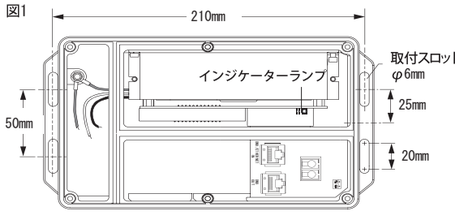


図3

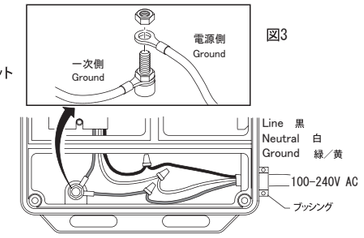
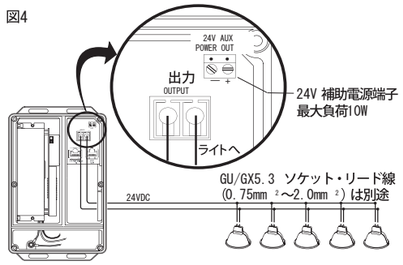


図4



PDS-70mr 24V 1台につきiColorMRg2 14個まで接続可能
ケーブル配線距離は最長15m 以内
(PDS-70mr 24V から末端の灯具まで)

4. PDS-70mr 24V とライトの接続

注意

ライトの接続は、電源を切った状態で行って下さい。
PDS-70mr 24V 一台につき、iColorMRg2 14個まで接続可能です。PDS-70mr 24V は、ダウントランスとして、ライティングトラックやレール、ケーブルなどのMR16 型照明器具に電源を供給する役割を果たします。

注意

PDS-70mr 24V は、トランス付属タイプの照明器具には使用できません。

◆ 4-1
0.75mm ²以上2芯の被覆付きケーブルまたは配線状況に適切な電線を使い、iColorMRg2 とPDS-70mr 24V を接続します。

◆ 4-2
そのケーブルをPDS-70mr 24V 本体の2ピンの端子台に接続します。
(図4参照)
※ PDS-70mr 24V の端子台は無電極です。どちらの端子にどちらのワイヤを結線しても構いません。

◆ 4-3
配線口には、適宜付属のブッシングなどを取り付け、ケーブルの保護を行って下さい。

5. 24V 補助端子を使ったコント ローラ ーの接続

PDS-70mr 24V にはDC 24V の補助電源端子 (24V AUX POWER OUT) があります。フィリップスコントローラーのカラーダイヤル、シンクロナイザー、マルチシンクロナイザーなどをお使いの場合はこの補助端子からそれらの器具に直接電源を供給することが可能です。補助端子の最大負荷は 10W までです。
詳細は各器具の取扱説明書をご参照下さい。
(図4参照)

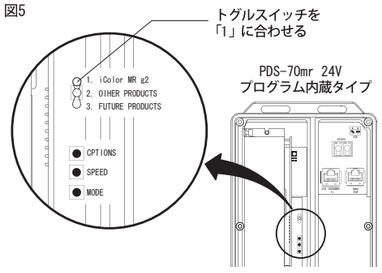
6. PDS-70mr 24V の設定

プログラム内蔵タイプを使用する場合

PDS-70mr 24V プログラム内蔵タイプでは、以下の手順に従いプログラムの設定を行います。

◆ 6-1-1ライト の選択
PDS-70mr 24V 内部のトグルスイッチをポジションの位置に合わせて下さい。(「2」および「3」は通常使用しません。)
この作業は、PDS-70mr 24V が正しくライトを認識できるように、電源を入れる前に行います
(図5参照)

図5



注意

ボタン設定の際、アクセサリーや衣服、手指がラインボルテージに触れないよう気をつけて下さい。

◆ 6-1-2モード の選択
モードボタン (MODE) を押して演出パターンをセットします。ボタンを押すごとに、次のようにパターンが切り替わります。
▶チェイシングレインボー、ランダム、カラーウォッシュ、固定色

※チェイシングレインボーは各ライトに個別アドレスの設定が必要です。

◆ 6-1-3スピード の調整
スピードボタン (SPEED) を押すごとに4段階スピードが切り替わります。固定色モードの場合は、ボタンを長押しすると色相環を周ります。固定したい色になったらボタンを放します。

◆ 6-1-4オプション
モードによってはオプションが設定できます。ボタンを押すごとに以下のように切り替わります。
▶ランダムモード の場合:
色変化のフェードの有無選択
▶レインボーモード の場合:
① レインボーの1サイクルの長さを拡張 (4段階)
② 循環方向の反転
③ レインボーの1サイクルの長さを縮小 (4段階)
備考:一度設定したモードやスピードは、電源を切っても次に新しい設定を行うまで PDS-70mr 24V に記憶されます。

※ PDS-70mr 24V プログラム内蔵タイプには、データ出力ポート (DMX OUT) が備わっているため、プログラム内蔵タイプを先頭に、2台目以降にDMX タイプを送り配線することで、複数台のPDS-70mr 24V を内蔵プログラムでシンクロ制御することも可能です。

DMX タイプを使用する場合

PDS-70mr 24V DMX タイプでは、以下のように DMX データの接続を行います。

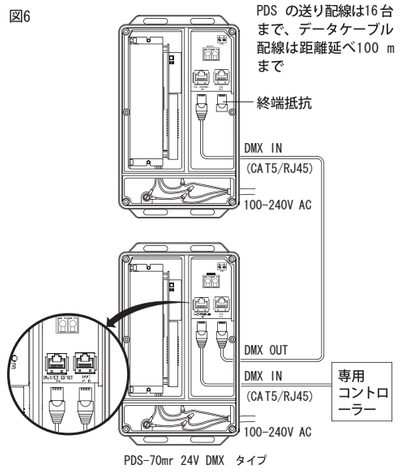
◆ 6-2-1
データの接続には、RJ45 コネクター付き CAT5E データケーブルを使用します。コントローラーからのデータケーブルを本体または蓋の配線口に通し、PDS-70mr 24V の DMX INポートにRJ4 5コネクターをつないで下さい。

◆ 6-2-2
データケーブルの配線口には、適宜付属のブッシングを取り付けて下さい。
※コネクター部に負担がかからないよう適切な処理をして下さい。

◆ 6-2-3
データを別の PDS-70mr 24V に送る場合は、送信側の DMX OUT ポートと受信側の DMX IN ポートをRJ4 5コネクター付き CAT5E データケーブルで接続して下さい。

◆ 6-2-4
一連の最後に接続した PDS-70mr 24V の DMX OUT ポートには、終端抵抗を必ず差し込んでください。
(図6参照)

図6



PDS-70mr 24V DMX タイプ

◆ 6-2-5
PDS-70mr 24Vの設置と接続が完了したら、iColor MRg2へのDMXアドレス設定を行います。アドレスは出荷時ライトナンバー「1」に設定されています。アドレスを変更する際は、フィリップスのアドレス設定サポートサービスをご利用いただくか、iPlayer3のアドレス設定機能をご利用ください。 ※ 詳細はお問い合わせ下さい。

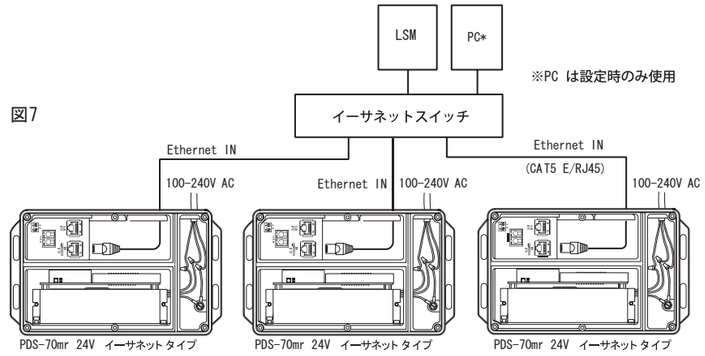
イーサネット タイプを使用する場合

PDS-70mr 24V イーサネットタイプは、フィリップスの専用ネットワークシステム・ライトシステムマネジャー (LSM) に対応します。LSM は専用ソフトウェアと専用ハードウェアを使います。また、LSM と PDS-70mr 24V の接続には、イーサネットスイッチ (※別途ご用意下さい) を経由します。

◆ 6-3-1
データの接続には、RJ45 コネクター付き CAT5E LAN ケーブルを使用します。イーサネットスイッチからのLAN ケーブルを本体または蓋の配線口に通し、 の EthernetINポートにRJ4 5コネクターをつないで下さい。

◆ 6-3-2
LAN ケーブルの配線口には、適宜ブッシングを取り付けて下さい。
※コネクター部に負担がかからないよう、適切な処理をして下さい。
備考:イーサネットでは、LSM からイーサネットスイッチを介して放射線状に PDS-70mr 24V を接続する、スター型配線を行います。PDS-70mr 24V の送り配線は出来ません。必要に応じた台数のイーサネットスイッチを適宜使用して下さい。(図7参照)

図7



7. 蓋の取り 付け

全ての接続を終えたら、付属のネジで蓋をします。

注意

蓋を取り付ける前に、ゴムパッキンがずれていないか、ケーブルが挟まっていないか確認して下さい。

8. 保護回路機能について

PDS-70mr 24V には、ショートを防ぐための保護回路が備わっています。保護回路が作動した場合、赤いインジケーターランプが点灯しますので、その原因を速やかに取り除き、再度電源を入れ直して下さい。

9. 定格・使用環境

・定格

定格入力電圧	定格入力電流	周波数
AC100V-240V	1.7A-0.7A	50/60Hz
出力電圧	出力電流	出力電力
DC24V	3A	72W 最大

・使用環境

場所	温度	湿度
屋内	-10℃～40℃	0%～95% 結露なし

10. 安全上のご注意

◆ 器具のご使用について

警告

火災のおそれがあります
・不安定な場所で使用しないで下さい。
・器具を布・紙などでおおったりしないで下さい。
また、カーテン・揮発物などの燃えやすいものに近づけないで下さい。

感電・火災のおそれがあります
・器具および部品の改造をしないで下さい。
・器具のすきまに、異物 (金属や燃えやすい物など) を差し込まないで下さい。
・電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないで下さい。また、電源コードに重いものをのせたり、電源具に近づけたりしないで下さい
・異常時 (煙が出たり、変なにおいがする等) には、速やかに電源を切ってお買い上げの販売店にご相談下さい。

感電のおそれがあります
・器具のお手入れの際には、必ず電源を切って下さい。

注 意

・必ずメンテナンス可能な場所に設置して下さい。
・器具を水の中につけて洗わないで下さい。感電や火災の原因となることがあります。
・器具の近くに温度の高くなるストーブや、発熱体を置かないようにして下さい。器具の変形や火災の原因となることがあります。
・器具に表示された定格電圧以外の電圧で、使用しないで下さい。定格電圧を超えた電圧でご使用になりますと、火災の原因となります。
・屋内用器具ですが、風呂場等の湿気の多い場所、直射日光の当たる場所では使用できません。また、屋外では使用しないで下さい。故障や事故の原因となります。
・器具の保守・お手入れ等で、無理に回転させたり、引っ張ったり、振動や衝撃を加えたりしないで下さい。器具の転倒や落下によるけがの原因となることがあります。
・安全に使用していただくために、器具を定期的に (6ヶ月に一度程度) 清掃、点検して下さい。器具のネジや部品のゆるみがないか、損傷、脱落、コードの痛みがないかお調べ下さい。発火・火災の原因となることがあります。

お願い

・ぬれた手で器具にさわらないで下さい。
・器具のお手入れの際に、ガソリンやシンナー、ベンジンなどの揮発物でふいたり、殺虫剤をかけたりしないで下さい。変色・破損の原因となります。汚れがひどい場合は、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よくしぼってふきとり、乾いた柔らかい布で仕上げて下さい。
・お読みになりましたら、このユーザーガイドは、いつでも見られる場所に、大切に保管して下さい。ご不明点がありましたら、販売店にご相談下さい。

11. 保証について

本製品の保障期間はお買い上げ日より1年間となっております。保証期間中に、ユーザーガイド等の注意書きに従った正常な状態で本製品が故障した場合には、当社所定の方法により無料で修理または交換させていただきます。お買い上げの販売店もしくはフィリップスエレクトロニクスジャパンまで連絡下さい。(特別に訪問を行った場合や引取サービスをご利用いただいた場合には、別途サービス料を申し受けます。)

保証期間中でも、次のような場合には修理・交換の対象となりませんのでご了承下さい。
・ご使用上の誤り、または改造、誤接続による故障および損傷の場合。
・火災・地震・水害・落雷およびその他の天災地変、公害、塩害、ガス害、異常電圧や指定外の電源使用による故障および損傷の場合。
・接続している他の機器に起因して本製品に生じた故障および損傷の場合。
・お買い上げ後の輸送や移動および落下等、不適当なお取り扱いにより生じた故障および損傷の場合。

◆ 米国内及び海外での特許申請

当社は、当社の照明製品および制御装置の購入者に対し、クロマコアを個人的に 使用 できるが譲渡不可能な使用権を許諾しています。クロマコアは当社が特許を取得した技術で、イルミネーション、ディスプレー、およびデザインに使用されるLED ベースの色変化照明器具をネットワーク上で制御できる技術です。この使用許諾権は当社だけがその付与を認めるべきものであり、当社の承認なしに譲渡することはできません。LED ベースの色変化照明をネットワーク制御する技術を使って、他の製品を設計、複製、製造、または販売することは禁止されるかもしれず、また、そのような行為はこの文面では許可されていません。